



MONTHLY NEWS

京都画廊連合会ニュース

THE KYOTO GALLERIES FEDERATION OF ARTS

2009
12月号
No.416

ボルゲーゼ美術館展

と き / 10月31日(土)~12月27日(日) 9:30AM~5:00PM
と ころ / 京都国立近代美術館 (祝日以外の月曜休館)
京都市左京区岡崎公園内 ☎075-761-4111

イタリア、ローマ市北東部の広大なボルゲーゼ公園に位置するボルゲーゼ美術館は、名門貴族であったボルゲーゼ家歴代のコレクションで知られており、世界に名だたるルネサンス・バロック美術の宝庫と言われている。本展は、その珠玉のコレクションから選ばれた、ラファエロやポッティチェリといったルネサンスを代表する巨匠をはじめ、バロック絵画の先駆けであり「最初の近代画家」とも言われるカラヴァッジョ、そしてジャン・ロレンツォ・ベルニーニら、文字どおりイタリア美術の最盛期を概観できる内容となっている。今回はボルゲーゼ美術館のコレクションが日本でまとめて紹介される初の試みであり、およそ250年にわたるイタリア美術の流れを約50点の名品の数々で辿る。その多くが日本で初公開の作品だ。会場では15世紀から17世紀に展開した「表現の変遷」をわかりやすく構成している。また特別出品されている〈支倉常長像〉(1615)は、伊達政宗が送り出した慶長遣欧使節団のローマ到着の際に描かれたもので、往時を偲ぶ貴重な作品。



アルキータ・リッチ 「支倉常長像」1615年



ラファエロ・サンツィオ 「一角獣を抱く貴婦人」1505~06年

世界無形文化遺産登録記念

アイヌの美 カムイと創造する世界

と き / 11月23日(祝)~1月11日(祝) 10:00AM~6:00PM
と ころ / 京都文化博物館 (月曜と年末年始休館)
京都市中京区三条高倉 ☎075-222-0888

アイヌの古式舞踊がユネスコ世界無形文化遺産に登録された。近年、日本の先住民としてのアイヌ文化への関心が高まっている。ロシアを中心とした欧米の博物館・美術館には、19世紀から20世紀初頭にかけて収集されたアイヌ資料が収蔵されており、とくにロシア民族学博物館には、約2,600点の資料がある。この資料中には、日本に現存しないものも数多く含まれており、古い時代のアイヌ文化とその芸術を知る上では好個の資料である。



「木綿衣」
(ロシア民族学博物館蔵)



本展は、ロシア民族学博物館が所蔵する資料の中から、平沢屏山「熊送り図」(オムスク造形美術館蔵)とくに芸術的価値の高いものを「カムイ(神)とアイヌの人々が創造したもの」として「まとう」「いのる」「まかなう」の3部に再構成し展示する。あわせてオムスク造形美術館に所蔵されている平沢屏山の江戸時代末から明治にかけてアイヌの人々を描いた絵画資料を紹介(世界初公開)し、アイヌの伝統文化と芸術に親しみながら、アイヌ文化の理解と振興に寄与するものである。

会場	日曜		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木		
京都国立近代美術館 左京区岡崎公園内 761-4111	ボルゲーゼ美術館展																											休館	→3/31				
京都国立博物館 東山区東大路七条西 541-1151	全館休館中																												→1/5				
京都府 京都文化博物館 中京区高倉通三条上ル 222-0888	2F	王朝文学の雅 ー重要文化財 大島本源氏物語ー															幕末の風流-天保、ちょうちょう踊の図(〜2/7)										冬期休館	→1/4					
	3F	世界無形文化遺産登録記念企画展示 受け継いでいく祇園祭(〜1/11)																															
	4F	「アイヌの美 カムイと創造する世界」展(〜1/11)																															
	5F	gen 掛川源一郎 が見た戦後 北海道	第94回表展 (表装展覧会)					Amuse art jam 2009 in Kyoto					粹屯 坂井孝能面展					書 十二月の会															
	6F						第10回 いづみ会 春展					台湾現代陶芸家 蔡榮祐創作展					2009京都大学写真部 OB会 第5回京都展																
別館	木田安彦の世界										Amuse art jam 2009																						

会場		日曜	1火	2水	3木	4金	5土	6日	7月	8火	9水	10木	11金	12土	13日	14月	15火	16水	17木	18金	19土	20日	21月	22火	23水	24木	25金	26土	27日	28月	29火	30水	31木
京都市美術館 左京区岡崎公園内 771-4107	本館	京都市美術館コレクション展 第3期 儂きもの (~1/17)																															
		第94回二科展				第41回日展京都展 (~1/15)												冬期休館															
		第77回独立展																															
	別館	K2				京都とっておきの芸術祭				日本・コリア友好美術展 2009/京都				第47回全子ども会 (自由画) 美術展																			
京都府立文化芸術会館 河原町府立病院前 222-1046	1F	ファミ展 (洋画)				冬期選抜 京都墨彩画壇展				筈々会展 (日本画)				日本画ん展																			
	2F	水月会書展				京阪滋 大洋會展 (洋画)				成展 (日本画)				かみはて KAMIHATE 08展 (日本画)																			
	3F	三餘会書展				蛸田窯百碗展																											
京都府立堂本印象美術館 北区平野上柳町26 463-0007	印象作品の表裏-本画と下絵 (3/7)																										冬期休館						
① 何必館・京都現代美術館 東山区祇園町北側 525-1311	常設展																																
① 思文閣美術館 左京区田中園田町2-7 751-1777	没後30年 神谷美恵子がのこしたもの (月曜休館)																																
① 高島屋 下京区河原町四条下ル 221-8811	室井東志生展	安田育代展 (日本画)				松尾敏男展 (日本画)				第14回21世紀の日展 (日本画・洋画)				第41回十騎会 (洋画) 彩趣会 日本画展																			
	Grandホール	休廊																															
① 大丸 中京区四条高倉 211-8111	画廊	輪島漆芸逸品展				京の中古道具市				東ヨーロッパ絵画展				歳末巨匠版画バザール																			
	アートサロン	緒形修一 グラスアート展				箔画 野口塚郎展				軸装紅札市																							
	ミュージアム																																
会場		日曜	1火	2水	3木	4金	5土	6日	7月	8火	9水	10木	11金	12土	13日	14月	15火	16水	17木	18金	19土	20日	21月	22火	23水	24木	25金	26土	27日	28月	29火	30水	31木
① 中信美術館 上京区下立売油小路東入 417-2323	京都市中央信用金庫創立70周年・石本正画業70年記念「石本正」展《後期》																				冬期休館												
① 並河靖之七宝記念館 三条通北裏白川筋東 752-3277	七宝と庭の縁 一靖之と植治一				休館中																												
① 美術館「えき」KYOTO JR京都伊勢丹7F 352-1111	イメージの魔術師 エロール・ル・カイン展〜めくるめく絵本原画の世界〜																																
① アートギャラリー北野 中京区三条河原町東入 221-5397	佛敎大学写真研究会 2009年学外展				水嶋あけみ展 (鉛筆画、ドローイング、版画)																												
① アートスペース虹 三条蔵上ホテル隣 761-9238	ハシモトシホ展				カレンダー for 2010 (14日休廊)								冬期休廊																				
① アートスペース東山 東山区三条神宮道東入 751-1830	中井英夫個展				西澤茂樹油絵展 一人物・そのトキメキ				能勢まゆ子展				冬期休廊																				
① イムラ・アート・ギャラリー 左京区丸太町川端東入 761-7372	吉田翔展 (平面) 「INSPHER〜つつみ込まれるように〜」 (日・祝休廊)																冬期休廊																
① 石屋町ギャラリー 木屋町三条下ル東入ル 222-2171	ウィンドー展示																																
① 一心堂画廊 中京区烏丸通六角下ル 211-1013	常設展 (日本画・洋画)								一萌会展								常設展 (日本画・洋画)																
① 芸艸堂画廊 中京区寺町二条下ル 231-3613	木版本「神都名勝誌」																																
① 絵草子 東山区新門前通東山西 551-9137	常設展																																
① 延寿堂ギャラリーソフォラ 中京区二条寺町東入 211-5552	松野幸弘	杉江智ガラス展 (水曜定休) http://www.sophora.jp																				冬期休廊											
① 御池画廊 北区小山上総町20-2 492-3083	常設展 (水・祝休廊) <地下鉄烏丸線 北大路駅①出口 (今宮通) 東側>																								冬期休廊								
① カギムラ画廊 中京区河原町四条上ル東入 221-2996	常設展																																
① 画廊おかざき 岡崎平安神宮道 761-0027	現代工芸作家常設展																																
① 画廊きよみず 東山区清水五条坂 525-2062	日本画常設展																																

①：企画および常設を中心に活動する画廊 ②：貸画廊

不確かな風景 フランソワ・ビュルラン日本初個展

と き／12月1日(火)～12月20日(日) 11:00AM～6:00PM
ところ／ギャラリー宮脇 (月曜休廊)
京都市中京区寺町通二条上る ☎075-231-2321

少年期から規範的な教育になじめず自由を追い求めたフランソワ・ビュルラン (Francois Burland 1958-スイス)。彼の孤高の創造世界は、未開人の儀式、古代文明、異境の伝説などと、日常に宿る聖なるものが混ざり合っている。

本展で紹介する「風景」あるいは「庭」と題されたインク画のシリーズは、薄明の戸外や蠟燭の灯のような自然の光の明滅の下で制作されている。光と闇の狭間で、即興的、盲目的に描きあげられながら、その作品にはシルエットとなった対象の輪郭が見事に表されている。そして同時にそれは、人間不在で現実性を欠いた「不確かな風景」でもある。その限りなく幻影的な映像は、現実と仮想の境界は曖昧で、現実とは平行的世界の永遠の複層構造であることを暗示する。

既存の美術のいかなる体系にも属さないフランソワ・ビュルランは、ジャン・デュビュッフエがアール・ブリュットに続いてヌーヴ・アンヴァンションと呼んだ作家群の中で長年にわたって重要視されてきたアウトサイダー・アートの代表的作家でもある。

会場にて記念特集パンフレット『螺旋階段』第82号無料配布。



Jardin (庭) 29.5×42cm



Landscape (風景) 5×14cm



Landscape (風景) 5×14cm

北村美佳 Mika Kitamura EXHIBITION 2009

と き／12月1日(火)～12月6日(日) 12:00～7:00PM
ところ／ギャラリーヒルゲート (1F/2F) (最終日～5:00PM)
中京区寺町通三条上る西側 ☎075-231-3702

'98年に初企画展を開かせていただいて以来、当画廊では6度目の個展となります。油彩水彩アクリル、時には墨も使いこなし、その時々々の生活や心境を自在に表現してきた北村さん。限りない深化と変貌を予感させる作家の世界をどうぞ御高覧下さいませ。

ギャラリーヒルゲート

〈略歴〉

- 1970 大津市生まれ
- 1992 二科展出品 ('95 80回記念賞、'99 二科賞、'02 会友賞)
佐藤国際文化育英財団第1回奨学生展 ('93 第2回展)
- 1993 京都芸術短期大学洋画専攻科修了
関西二科展奨励賞 ('94 関西二科賞、'95 30回記念関西二科賞、'96 特賞)
- 1997 京展市長賞 ('98 同賞)
- 2001 京都府美術工芸新鋭選抜展
- 2002 文化庁現代美術選抜展、京都芸術センター CRIA展
- 2003 京都洋画の現在展
- 2004 前田寛治大賞展
- 他、個展、グループ展多数
- 現在、二科会会友



〔everyday life〕

白田祥章 ノ 個人展覧会

と き／12月2日(水)～12月16日(水) 11：00AM～7：00PM
ところ／後楽堂(会期中無休)
京都市中京区新町通丸太町下ル ☎075-231-0938

人畜無害の外を見た。山の様に積み重なる広告は、なけなしの力を振り絞って、しょぼくれた視線を此方に向ける。

走りさる鰻は、奇妙で爽快な笑みをされていて、見えていたはずの雑踏も、そこかしこに分散する。

いつもの紅茶は、ただの水面にもどった。交錯する視線に飛び込んで、制作は進みます。是非、御覧ください。

白田 祥章

作品の形態は多岐に及び、絵画、立体、インスタレーション、写真、等を使い制作発表しています。

現在発表している絵画作品は、素直な自己目標をデフォルメされた形態として、表出させた存在をテーマに制作しています。絵画制作は、東京芸術大学日本画科にて日本の古典絵画技法を修めており、絵画の修復等も手がけます。

木工芸を機軸とした作品も多く手がけ、木製の水車のようなカラクリ作品から、ひきもの、寄木細工など、木の質感をオリジナリティー豊かに発展させていきます。展覧会等のイベントも多数手がけ、音楽と絵画のコラボレーション企画では北海道や東京など各地で開催するなど精力的な活動が見られます。現代の作家に見られるマルチタレント的な作家なので様々な角度からの取り組みが期待できます。



「ototoe」

略歴

東京藝術大学美術学部日本画部卒業

2003年 北海道、登別市民会館にて三味線、和太鼓との
コラボレーション「音と絵」開催

2004年 横浜、ギャラリーミロにて「ひとひろ展」開催

2004年 江戸川橋、アップリンクギャラリーにて
「FULL展」開催

2005年 埼玉県立近代美術館にて「葦展」開催

2005年 半蔵門、日本の風にて「気流展」開催

2005年 北海道、スタジオシンフォニカにてギター、
尺八とのコラボレーション「OTOTOE」開催

2005年 代官山、STRAMAにて「OTOTOE」開催

2006年 乃木坂、礫にて「OTOTOE」開催

2006年 日暮里、間間間にて個展

2006年 下北沢、bio sweetsにて個展

2007年 横浜ギャラリーミロにて百葉展 展示

2007年 目黒、音の箱にて展示

2007年 北海道、伊達信金コスモスホールにて個展
「najimanaimono」開催。

2008年 埼玉県、埼玉県立美術館 EXHIBITION「葦」
2007へ出展

2008年 京都、ロケット88号展開催

2008年 京都、京都文化博物館展示

2009年 京都、ニコニコ展開催

結城幸司展 —アイヌの心話と神話の世界—

と き／12月1日(火)～6日(日) 11：00AM～7：00PM
ところ／堺町画廊
京都市中京区堺町通御池下る ☎075-213-3636

「アイヌアート・プロジェクト」は、北海道を拠点に、ライブ、版画、木彫、刺繍、ストーリーデリング、ポエトリーなど、幅広い表現でアイヌ文化とその精神を伝えるアーティスト集団です。2008年7月には、「先住民族サミット・アイヌモシリ」のオーガナイズに関わり、世界の先住民と共に大地のメッセージを発信しました。

グループのコンセプトである「今を生きるアイヌ」「希望という名のコタン」を胸に道内外に文化の力でアピールし続けています。

結城幸司はその代表であり、アイヌの世界感の表現を版画、創作物語等で語りかけています。

12月6日(日) 午後3時～4時半「アイヌの物語、語りと演奏」

語りと演奏：結城幸司

演奏：長根あき

語り継がれた物語と自身の創作物語を結城さんが語ります。

楽器はトンコリとムックリ

参加費：2,500円(アイヌ料理カボチャのラタシケプとキハダの実のお茶つき)



「カムイビルマC9」

〔今月の展覧会より〕

吉田 翔 個展

「INSPHER ～つつみ込まれるように～」

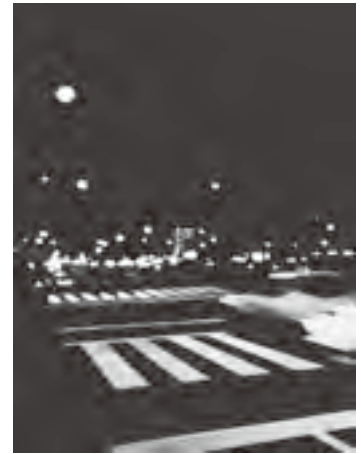
と き／12月5日(土)～12月26日(土) 11:00AM～7:00PM
ところ／イムラアートギャラリー (日曜祝日休廊)
京都市左京区丸太町通川端東入 ☎075-761-7372

道端に咲く花や光と戯れる夜の街…日常の何気ない風景を絹に墨と胡粉という日本画の素材で描き続ける吉田翔。日本画出身の作家と聞いて一瞬驚くのは、その作品がマチエールを感じさせず、まるでコントラストの強いモノクロ写真と見間違ふからではないだろうか。しかし作品に近づいてみると、吸い込まれそうな漆黒が実は松煙墨、発光しているように眩しい白が白鷺胡粉によって描かれている、正に絵画なのだということを確認する。作品はあくまでシンプルでストイック。展示空間の中で静かに呼吸しているように感じる作品たちは、「主張し過ぎていない、品のある絵。ただそこに佇んでいるような感じの絵」が描きたい。「一枚の絵を見るというよりは、俯瞰して空間の中にどうあるか」を考えながら制作する吉田の言葉そのままと言えるだろう。

大学院在学中から国内外の個展、グループ展で作品を発表。「京都府美術工芸新鋭選抜展 2007」で最年少入選、「第11回岡本太郎現代芸術大賞展」入選(2008)。株式会社川島織物セルコンのコミッションワーク「KAWASHIMA YUKATA COLLECTION 2006」での浴衣図案制作など着実に実績を重ねている。また、東京での個展の際、海外のコーディネーターの目にとまり、昨年は香港での個展が実現した(「Distant Promise ー 遠い約束 ー」Harbour City)。企業ホームページ作成やDM、カタログデザインなど、絵画の分野に留まらず幅広く活動している期待の作家。

2008年大阪成蹊大学芸術学部美術工芸学科絵画表現領域日本画工房研究課程修了、現在は大阪成蹊大学芸術学部美術学科非常勤講師を務める。

当ギャラリーでは2回目の個展となる本展では「光と影／白と黒」をテーマに、今までとは視点を変えた夜の街の景色を中心に新作を含め約15点を展示予定。



光の街/Twinkle City 2009
絵絹、松煙墨、水簾絵具、白鷺胡粉、鹿膠
80.3×60.6cm

石田春久文華館展

と き／12月8日(火)～12月13日(日) 11:00AM～6:00PM
ところ／山総美術 (会期中無休)
京都市左京区岡崎平安神宮道 ☎075-751-6333

50歳を過ぎた頃、自分がもう人生の折り返し点をターンしたことを背んじざるを得なくなりました。「『若い』ってええなあ」と思うようになったのです。そんな日々、「芸術家と対峙し、私を分析・解釈・再構成してもらい、よって制作された自分の肖像画を見て、来し方を省み行く末に想いを馳せてみたい」という願望をいただくようになりました。

平成17年のある日の夕方、寺町通を歩いていますと、さる画廊のウインドーに白川の女性が描かれた日本画の作品が飾られていました。なかなかよらしい。その時までの私は絵を自分のものにする事など思いも及ばぬことでした。実行したことはもちろん所望したことさえありませんでした。ところがその日は当時住んでいた兵庫県の自宅に帰ってもその絵の事がまぶたと脳裏に浮かびます。「よっしゃ!」と思いました。

あくる日財布にお金を入れて、「この金額で足りるのなら買おう」と画廊を訪れました。最初対応していただいたのは主の子息でありました。絵をいただく件はすぐまとまりまして、芸術談議をかわしておりました。その会話が弾んできまして、ついに「話がおもしろすぎるやないか」とばかりに主が2階の執務室から降りてきました。「私を描いた絵がほしい」→「作家の心当たりがあります」と事態はその日のうちに進展したのです。

これが私が美術品を保有することになった発端です。美術品収集の私にとっての醍醐味は、ひとつは「後世に伝え残したい」というささやかな男気、もうひとつは「分類の楽しみ」です。分類の楽しみとは、ひと言では説明し尽くせませんが、例えば、ひとりの作家の作品を1点保有するとその存在がわかり2点保有すると「線」がわかり3点保有すると「面」でわかる。もっと保有すると「空と間」がわかる、という具合。また、同じく舞妓はんを描いた絵についても、複数並べて鑑賞するとそれぞれの良さがくっきりとわかるということがあると感じています。

「石田春久文華館」とは私の有形無形の芸術活動の名称です。楽しい計画をしております。この度は所蔵の三輪良平先生の御作品と「石田晴久を描いた絵」を御高覧いただきたいと存じます。この「京都画廊連合会ニュース」の記事には画像の併催がしきたりのようですが、なにより「実物」を御覧になっていただきたいゆえ文章のみでの御案内とさせていただきます。

「芸術」を私は「蝕(ソク)する者をして『生きててよかった・これからも生きよう』と感じさせる人間の所為」と定義づけております(平成21年10月10日時点)。
石田春久文華館 石田春久

「pos・it」 — 新制作協会会員の5人による —

と き／12月15日(火)～12月20日(日) 12:00～7:00PM
 ところ／ギャラリーヒルゲート (最終日～5:00PM) (1F/2F)
 京都市中京区寺町通三条上る西側 ☎075-231-3702

新制作協会会員である5人のpos・it (現在の位置という程の意味で名付けられました)。年代も作風も異なる作家たちの中・小品をお楽しみ下さいませ。

ギャラリーヒルゲート



「時の中に～悠～」

沼本秀昭 (ぬまもと・ひであき)
 '73 広島市生まれ、'96 第4回公募「広島美術」奨励賞、'00 広島市立大学大学院修了



「このゑ は弱いね」

渡辺恂三 (わたなべ・じゅんぞう)
 '33 東京生まれ、'63 パリ青年ビエンナーレ佳作賞、'69 国際青年美術家展ストラレム賞一席、文化庁在外研修、'72～'81 滯仏 カンヌ版画ビエンナーレ一位賞他、'80～'03 日本秀作美術展 渡辺恂三の世界展 (池田20世紀美術館)、'03 両洋の眼展 (以後毎回)、京都府文化功労賞、京都市文化功労者賞、他

〔略歴〕



「時の温度 (部分)」

一居孝明 (いちい・たかあき)
 '88 文化庁現代美術選抜展 ('93)、'92 安井賞展賞候補 ('96佳作賞)、小磯良平大賞展佳作賞、'93 京展京展賞 ('95須田賞)、'94 長浜市市民栄誉賞、'96 京都市芸術新人賞、京都府美術工芸展優秀賞、他、受賞多数



「seeds」

一居弘美 (いちい・ひろみ)
 '02 雪梁舎フィレンツェ賞展特別賞、'04 花の美術大賞展大賞、'05 日本アートアカデミー賞入賞、'07 上野の森美術館大賞展優秀賞



「untitled」

小原素彦 (おばら・もとひこ)
 '54 鳥根県隠岐島生まれ、'78 京展30周年記念大賞、'93 日仏現代美術展準大賞・クリティック賞1席、'94 モンテカルロ国際グランプリ展大賞

京都市美術館コレクション展 第3期 「^{はかな}儚きもの」

と き／10月24日(土)～平成22年1月17日(日)
 ところ／京都市美術館 (祝日以外の月曜と年末年始休館)
 京都市左京区岡崎公園内 ☎075-771-4107



小野竹喬「夕雲」1965年

日本の絵画や工芸には「^{はかな}儚さ」を示唆するモチーフが多く取り上げられてきた。咲いたと思うとすぐに散り始める桜、半日や一日でしぼんでしまう朝顔や槿花などの一日花も、その束の間の美を惜しまれ好まれてきた主題だ。^{しんぼ}蜻蛉や蝶などの生命短い昆虫も美しい花の点景として添えられたり、軽やかな工芸の意匠としてよく登場する。太陽や月の時間や季節ごとに異なる様子や、霞や霧、虹のような大気の現象、また天候や気象の変化が見せる一瞬の姿からも、美術家らは鋭敏に美を抽出してみせる。

一方、眼で見ることのできない空想や夢の情景も儚さと関連する主題だ。仏や飛天、極楽浄土、蓬莱山といった伝統的な主題に加えて、近代では画家たちの自由な発想による空想の情景や架空の対象が様々に描き表されている。光と影が生み出すさりそめの風景、煙や炎、水の流れや波濤のような一時も形の定まらない対象の視覚化にも美術家たちは果敢に挑んでいる。



伊藤久三郎「流れの部分」1933年



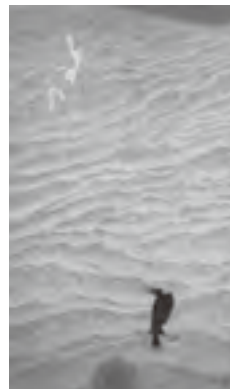
山本俊夫「楽土」2004年



佐野猛夫「雲をよぶ」1963年



清水卯一「蓬萊波壺」1999-2000



池田遥郎「寂」1970年

		日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
会場		曜	火	水	木	金	土	①	月	火	水	木	金	土	①	月	火	水	木	金	土	①	月	火	②	木	金	土	①	月	火	水	木
企	貸	画廊 後素堂 中京区新町丸太町下ル 231-0938	白田祥章個人展覧会																														
企	貸	画廊 彩雲 宇治市折居台1-4-40 23-1468	常設展(土・日・祭日休廊)																														
企	貸	画廊 たづ 東山区神宮道三条西入ル 771-8225	日本画常設展																														
貸	貸	画廊 ビーナズ 三条大橋東一筋目上ル東 771-3104	冬の温室(油)						みんなで展覧会						年末休廊																		
貸	貸	ぞおんギャラリー八坂 東山区祇園町南側 525-1717	貸ギャラリー 受付中																														
貸	企	ギャラリー 青い風 左京区岡崎神宮道東側 752-0182	臨時休廊						森本克彦展(洋画)(月曜休廊)												冬期休廊												
貸	企	ギャラリー いちかわ 下京区河原町松原上ル 351-7267	貸画廊予約受付中																														
貸	企	ギャラリー M 中京区錦薬師高倉西 221-0979	この1年をふり返る軸装展(松本祐佳)												クリスマス画と軸装画(松本祐佳)												冬期休廊						
貸	企	ギャラリー おいけ 中京区東河院御池下ル巻屋町 221-3601	休廊		「ファラオの墓」悠久-ETERNITY-										休廊						休廊		花園大学写真部 冬期学外展						休廊				
貸	企	ギャラリー 押小路 中京区押小路南之町東入 212-8345	常設展																														
貸	企	ギャラリー カト 1F 中京区寺町御池下ル 231-7813	游々窯作品展				龍谷大学陶芸部				How are you. PHOTOGRAPHY? 展				アトリエ ピシク 合同作品展				冬期休廊														
貸	企	ギャラリー かもがわ 上京区堀川出水西入 432-3558	えびね会				研義治個展				福島和男写真展				→1/10																		
貸	企	ギャラリー 河原町 中京区河原町二条上ル 231-6249	田口高八作品展ーローケツ染の世界ー(火曜日休廊)												神門やす子作品展ー墨と遊ぶー(火曜日休廊)(~1/17) 正月休み →1/4																		
貸	企	ギャラリー 河原町 中京区河原町二条上ル 231-6249	院展日本画常設展 貸画廊受付中																														
貸	企	ギャラリー 祇園小舎 東山区四条通繩手東入 551-3828	つつらや リサイクル 着物市				花 少女 空 石田とおる油絵展				ポーソン婦人服展示会				フラワー アレンジメント 展																		
貸	企	ギャラリー 吉象堂 中京区三条柳馬場東 221-3955	第11回 丸池'69展						京都産大 写真部3回生						京都産大 写真部新人																		
		日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
会場		曜	火	水	木	金	土	①	月	火	水	木	金	土	①	月	火	水	木	金	土	①	月	火	②	木	金	土	①	月	火	水	木
貸	企	ギャラリー 恵風 左京区丸太町東大路東入ル 771-1011	砂押かほる展						漆の飾展(月曜休廊) 安東智香・ 栗本夏樹・佐野暁・染谷聡・佐々木友恵																								
貸	企	ギャラリー 佐野 中京区寺町錦薬師西北角 221-2767							牧崎敦子展(日本画)						紙の昆虫たち展 齊藤卓治展						冬期休廊												
貸	企	ギャラリー 三条 中京区三条小橋西入 221-3341	貸ギャラリー受付中																														
企	貸	ざらりい 思文閣 東山区古門前大和大路東 761-0001	常設展																														
企	貸	ギャラリー 白川 東山安井東一筋目南 532-2616	常設展																														
貸	企	ギャラリー 翔 左京区北山通下鴨中通東 724-8154	花・染・織の三人展				アート干支展(トラ)				アトリエ ミウラ 作品展(油彩・水彩他)				廣部寧木工作品展 (小もの木工作品)																		
貸	企	ギャラリー 16 東山区三条通白川橋西入上ル 751-9238	岸田良子展 白地図:「アジェ」タイプ						福西数身展「Naturally」(平面) (~1/16)						冬期休廊 →1/11																		
企	貸	ギャラリー すげうら 東山区三条大橋東入ル 771-3650	常設展																								冬期休廊 →1/11						
企	貸	ギャラリー 創 中京区河原町御池上ル 251-0522	日本画・洋画常設展																														
貸	企	ギャラリー 象鯨 中京区姉小路柳馬場東 253-0738	アトリエポンド家具展 建築デザイナー戸村聡里																														
貸	企	ギャラリー 高倉通 中京区高倉姉小路下ル東片町020 221-3390	常設展 貸画廊予約受付中																		冬期休廊												
企	貸	ギャラリー テラ 中京区寺町二条下ル 257-1755	二川英一木版画展 (版画)				How are you PHOTOGRAPHY? 展(写真)				藤井ゆみ ネット作品展 (染織)																						
企	貸	ギャラリー 鉄齋堂 東山区新門前東山西 531-6164	常設展(6・9・18・19日休廊)																								冬期休廊 →1/4						
企	貸	ギャラリー なかむら 中京区姉小路河原町東 231-6632	阿部緑展(染色)(月曜休廊)																														
企	貸	ギャラリー 中井 中京区木屋町三条上ル 211-1253	野村昌司「青の風画」 展				五色の音				冬期休廊 →1/25																						
貸	企	ギャラリー はなうさぎ 東山区神宮道三条東入 761-9606	room1 休息の家、休息の夢		room2 増野智紀		room3 年賀状展(60人)		福本香弥子(平面) 前川理栄(平面)		山口まなみ		第七感(グループ12人)				中島麦(平面)		たましいの芸術大学展6 (グループ展)				冬期休廊 →1/8										
企	貸	ギャラリー 白梅園 北区北野上白梅町63 461-0427	白崎信子ガラス作品常設展																														

会場		日曜	1火	2水	3木	4金	5土	6日	7月	8火	9水	10木	11金	12土	13日	14月	15火	16水	17木	18金	19土	20日	21月	22火	23水	24木	25金	26土	27日	28月	29火	30水	31木	
貸	企	ギャラリー-ヒルゲート 中京区寺町三条上ル 231-3702	1F	北村美佳展 (二科会友)			小川佳浩日本画展 銅版画グループ遊展			Pos・it展 (新制作会員5人)			小島祐一展 (油彩)			年末年始 休廊			→1/11															
企		ギャラリー-美楽堂 東山区神宮道三条上ル 761-9710	常設展示(月曜休廊)																								冬期休廊	→1/7						
貸	企	ギャラリー-マロニエ 河原町四条上ル東側 221-0117	3F	指岡谷史子展(平面立体)			詔問のり子展(写真)			京都写真展(21日休廊)			冬期休廊			→1/11																		
貸	企	ギャラリー-みすや 中京区三条河原町西入 211-5997	4F	清水裕美子展(染色)			How are you PHOTOGRAPHY?			冬期休廊			→1/11																					
企		ギャラリー-唯 左京区岡崎神宮道東側 752-0348	5F	曽根亮子展(染織)			休廊			土鍋+漆+硝子+干支展 山本忠正(土鍋)安土天平(硝子)沈明姫(漆)堂前邦子(干支)(月曜休廊)			冬期休廊			→1/4																		
企		ギャラリー-洛中洛外 山科区清水焼団地内 595-5450	陶芸作品常設展示												酒器展						→1/4													
貸	企	ギャラリー-龍馬 河原町三条下ル東入 211-7700	"龍馬と酢屋"常設展(毎週水曜日休廊11:00~17:00)																															
企		ギャラリー-正観堂 東山区切通新門前上ル 533-4110	休廊	京漆器名品百椀展												冬期休廊						→1/13												
企		ギャラリー-宮脇 中京区寺町二条上ル 231-2321	常設展																															
貸		ギャリエヤマシタ 中京区寺町三条上ル 231-6505	1F	佛教学写真研究会OB・OG展			第9回いわくら病院作品展			早川勝二 画歴50年記念切り絵展			大西美弥子書展「love letter」			京都産業大学2年生 秋展			油絵グループLUA展			犬やわんわん堂展4												
貸	企	京都ギャラリー 中京区烏丸通錦上ル東側9F 257-5435	2F	貸ギャラリー受付中																														
企		京都東急ホテルギャラリー-kazahana 下京区堀川通五条下ル 341-2646	湯浅三郎展「和紙はり絵の世界」																															
貸	企	京都万華鏡ミュージアムアトススペース 中京区姉小路東河院東入 254-7902	黒岩豊隆 今日 楽しく展																															
貸	企	京町家ギャラリー-桂風 下京区仏光寺高倉東 361-4146	常設展																															
貸	企	江寿コンテンポラル 中京区丸太町寺町西 256-4707	常設展																															
会場		日曜	1火	2水	3木	4金	5土	6日	7月	8火	9水	10木	11金	12土	13日	14月	15火	16水	17木	18金	19土	20日	21月	22火	23水	24木	25金	26土	27日	28月	29火	30水	31木	
貸	企	堺町画廊 中京区堺町御池下ル 213-3636	結城幸司展 アイヌ・アートプロジェクト			あべ弘士展(14日休廊)			冬期休廊			→2/28																						
貸		里見有清堂 中京区堺町三条上ル 221-5423	11月より受付																															
企		三条祇園画廊 中京区河原町三条東 255-3335	常設展																															
企		蔵丘洞画廊 中京区御池寺町東入 255-2232	常設展 (日・祝休廊)			東園基昭展(期間中無休)												常設展(日・祝休廊)																
企		ニュートロン 中京区三条烏丸西入 211-4588	「入口は出口」武内咲子 (平面)(月曜休廊)			グループ展「It's a small world」(月曜休廊(祝日は除く)・最終日は18:00まで)			冬期休廊			→1/2																						
企		大雅堂 東大路通祇園上ル 541-7388	常設展(津田沙織~初めから終わりまで~)																								※随時変更の場合有り			冬期休廊	→1/11			
企		梅軒画廊 中京区烏丸四条上ル 221-3510	日本画・洋画常設展(日・祝祭日休廊)																														冬期休廊	→1/4
企		美術はがきギャラリー-便利堂 中京区三条富小路上ル 253-0625	「名宝の虎で祝う~新年コロナタイプ年賀はがき~」																															
貸	企	ヴォイス・ギャラリー 南区東九条西岩本町10 585-8458	pfs	高橋三紀子個展			藤場美穂個展			マリーケ・ボルホース写真展			w	後藤真依個展「薔薇色の惑星(月曜休廊)」			画廊コレクション																	
企		星野画廊 東山区神宮道三条上ル 771-3670	明治・大正・昭和名作発掘品展																															
企		前田画廊 左京区下鴨本町27 781-2510	洋画・日本画 常設展																															
企		松本松栄堂 中京区寺町東川上 212-0626	常設展																															
企		村田画廊 左京区松ヶ崎泉川町18-4 703-8960	常設展																															
貸	企	山総美術 岡崎平安神宮道 751-6333	山 総	中村佳阿瓊展			石田春久 文華館展			シュマン																								
貸	企	ヤマモトギャラリー 中京区姉小路寺町東入 231-2341	貸ギャラリー受付中																															
貸	企	龍枝堂画廊 中京区寺町二条上ル 252-4120	貸画廊受付中																															

発行：京都画廊連合会 京都市中京区高倉三条上ル 京都府京都文化博物館内(☎222-0895)
 [京都画廊連合会ニュースの購読予約受付中] 1年間¥2,000円です。毎月末にお手紙に届けられます。申込みは星野画廊(☎771-3670)まで振込用紙をご請求ください。
<http://www.kyoto-art.net/>